



2024

夏のボランティア体験プログラム 実施報告・感想集

夏のボランティア体験プログラム

ご参加・ご協力いただいた皆さまへ

この度は夏のボランティア体験プログラムにご参加・ご協力いただき大変ありがとうございました。

今年度は例年とは少し形を変えて「事前説明会の実施」と、参加者の皆さんには「体験記録シート」をご提出いただきました。大変な部分もあったかと思いますが、皆さんが体験記録シートに残していただいた「支援する立場になって気付いたこと」や「地域の方との交流を通して学んだこと」など、そうした「気づき」や「学び」を大切にしていきたいと思います。

夏のボランティア体験プログラムは川島町内の福祉施設や団体の皆さまのご協力により実施されています。お忙しい中、ボランティアの受入れにご協力いただきました福祉施設・団体の皆さま、大変ありがとうございました。



▲ 事前説明会には「参加希望者」68名、「受入れ事業所」3者（あすか川島工房様、つばさ南・北学童様、川島町総合型地域スポーツクラブ様）にご出席いただきました。

実施期間：令和6年7月22日（月）～8月30日（金）

参加者数：93名（のべ140名）

＜活動にご協力いただいた町内福祉施設・団体の皆さま＞

- | | |
|--------------------|-------------------|
| ・ デイサービスセンターやすらぎの郷 | ・ 川島町立さくら保育園 |
| ・ あすか川島工房 | ・ 川島町立けやき保育園 |
| ・ つばさ南学童クラブ | ・ 川島町赤十字奉仕団 |
| ・ つばさ北学童クラブ | ・ ハッピー体操 |
| ・ 学童保育どりいむくらぶ会 | ・ 川島町地域包括支援センター |
| ・ 学童保育かっぱくらぶ | ・ 川島町総合型地域スポーツクラブ |
| ・ 子育て支援総合センター | |

ボランティアセンターでは夏休みに限らず「ボランティアをお願いしたい方・活動したい方」のご相談をお受けしています。お気軽にご相談ください。

社会福祉法人

川島町社会福祉協議会ボランティアセンター

049-297-7111

デイサービスセンターやすらぎの郷

【実施日】7月22日(月)～8月30日(金)

【参加者】8名

- ・最初はお話相手になるのが不安だったけれど、お話をすることができ、話し相手になってくれた方が笑顔になったときが嬉しかったです。このような仕事があるのはみんなの居場所になると思います。
- ・話相手をするにも普段話している声だと聞こえなかったり大変だと思う事もあった。けれどその方の昔話などをしてくれて勉強になることも多かった。介護は大変だけど、その分やりがいや達成感もあったのでボランティアをして良かったと思う。
- ・普段は人と交流することが苦手だけど、この活動を通して、いろいろな人と交流することが出来た。また少し人の役に立つことが出来た気がする。高校生になると人間関係はとても大切になっていくので、今回の経験を1つ1つ大切にしていきたいと思った。

・お手伝いをしたり、わた飴やじゃがいもを食べたり、踊ったりお話ししたり、すごく楽しかったです。また、話し掛けてくれた方もいて嬉しかったです。一人でああしてしまいう時があったので、もっと積極的に行動できる様になりたいと思いました。

・最初はやり方やどうやって話し掛ければいいのかわからなかったけれど、1人の人と話せるようになって色々な人に話し掛けれる様になりました。周りの方がたくさんサポートしてくれたり、優しくやり方を教えてくれたりしたので、とてもやりやすい環境でした。このボランティアで人をサポートすることを学べました。



あすか川島工房

【実施日】8月7日(水)、14日(水)
21日(水)

【参加者】5名

- ・ベッドメイクひとつにしても様々な工夫があること、それを行う利用者の方が完璧にできるようになるまで、考えたこともなかった多数の障がいがあること、長い日時がかかること、そして大きな努力をしていることを学びました。

このボランティアを経験しなければ、障がいのある方がどのように働いているか、どのようなことが大変だと感じるか、知る事はなかったと思います。本日は貴重な経験をありがとうございました。

- ・自分は聞いてすぐできるが、ここで働いている人は障がいがあり、しっかり説明しても伝わりづらい人がいることを知った。けれど私達と同じ様に頑張っている仕事をしていることがわかった。

また、どうやって説明をして理解をしてもらうかなど説明をするのが難しいことも知れました。マークを付けたりして「こっちが前」など工夫をして教えているのがすごいと思いました。

これからはここで学ばせてもらったことを活かしていけるようにしたいです。

・ボランティア活動をやって「すごい」と思いました。障がい者の人達にわかりやすいように考えて、工夫して説明をしている職員さん、一生懸命仕事をしている障がい者の人達。体験をしてさらに実感しました。色々考えたりするボランティアで、とてもいい体験ができました。

- ・あすか川島工房で食器洗いの洗い方が違ってびっくりしました。掃除も普段やっている方法と違ってびっくりしました。内職は細かい作業が好きなので「上手」と言われて嬉しかったです。

来年もまた、あすか川島工房でボランティアをしたいです。

- ・洗面とトイレはそんなに難しくなかったです。ベッドメイクは立ったり座ったりが少し大変でした。内職は慣れてくると楽しかったです。もう少しやりたいくらいでした。



つばさ南学童クラブ・北学童クラブ

【実施日】7月22日（月）～8月30日（金）

【参加者】つばさ南学童クラブ：11名 / つばさ北学童クラブ：4名

- ・小学生たちが遊んでいる中に入ったりもしたので、楽しみながら活動することができた。勉強の指導についてはわかりやすく教えることができたと思う。このような活動はもっとたくさんの人が積極的に取り組めれば良いと思った。
- ・先輩としての責任感や色々な人と関わることの面白さも学ぶことができました。少子高齢化で僕たち子どもが減ってきている中、一人ひとりに手厚く教育指導を行い、関わってあげることが今後求められてくると思いました。
- ・自分が先生の立場になったことで、責任感や色々な重圧を感じ、大変さを体験することができた。言う事を聞いてくれなくて、最後の方に言葉が少し強くなってしまったが、それが子ども達には逆効果になってしまった。言葉遣いは優しくした方が良いということを知れたので良い経験になった。
- ・前はお年寄りの方と関わったが、今回は子ども達のお世話という面で、また違った世代の人と関わる事ができた。将来の仕事においても小さい子どもの面倒を観ることがあると思うので良い経験になったと思う。

- ・小学生の頃お世話になった学童クラブで、今回はボランティアとして先生の手伝いをしました。通っていた頃では気付かなかった、先生は子どもたちのために裏でたくさん動いてくれていること、子どもの相手をするのが思ったより大変だということに気付きました。ボランティア体験をして良かったと思いました。来年はもっとたくさん活動したいと思います。
- ・1日中子どもの面倒を見るのは意外と大変だと知らなかった。先生は普段苦勞しているのだと学びました。私と入れ替わりで学童に入ってきた1年生の面倒を見ることで、こういう体験も良いなと思いました。また、お世話になった先生のお手伝いをして、少しでも恩返しできたら良いなと思いました。



学童保育どりいむくらぶ会・かっぱくらぶ

【実施日】7月22日（月）～8月30日（金）

【参加者】どりいむくらぶ会：16名 / かっぱくらぶ：11名

- ・言葉の選び方や伝え方など、年齢による違いを知ることができました。小学生の成長過程を感じる場面が多くありました。自分が小学生の時にこんな感じだったのか、と懐かしさと同時に驚きを感じました。
- ・児童の皆さんとても元気でこっちまで元気になれそうでした。職員さんもとても明るくて、色々教えていただきありがとうございました。夏ボラに参加して色々なことを学べました。
- ・色々な子とふれあい、指導員側を少しですが体験することができて良かったです。歳の離れた子と遊ぶことは中々なく、慣れない事もあり大変でしたが、貴重な体験ができました。
- ・ボランティア活動を通じて、子どもを育てる親の苦勞や感情を学びました。また、小学生の頃の自分を思い出すきっかけになりました。
- ・ボランティアを始める前はどんな1日になるかとても不安だったけれど、たくさんの子が声を掛けてくれたり、遊んでくれて嬉しかったし、楽しい1日になりました。

- ・今何をするべきなのかを考え、自分から動く場面が多かったので、当事者意識をもつことが必要とされ、その面ではかなり成長することができました。話し方や接し方も自分を見つめなおすことができました。自分にはまだ足りていないと感じる事もあったと同時に、成長するために必要な部分を知る事ができました。
- ・子どもを1日見るのにすごく体力が必要で大変だという事がわかりました。外は暑いので中で遊ぶことしかできませんでしたが、中でタブレットを活用したりしながら、学童の中で1日を過ごしました。学童に行った事がなかったので、どんな風に1日がすすんでいるのわかりました。3日間という短い間でしたが、色々なことが学べました。



子育て支援総合センター（かわみんハウス）

【実施日】8月17日（土）

【参加者】2名

- ・地域の人と一緒に話したりすることで、地域の人たちと交流を深め、さらに小さい子たちと楽しく遊ぶことが出来てとても嬉しかったです。ただ、交流をするのではなく、一緒に話をしたり遊ぶことで、より印象に残り、地域の絆を深めることが出来るんだなと思いました。また、かわみんのボール探しでは、上にたくさんあると簡単になってしまうので、1つだけ奥の方に入れたりし、丁度良い難しさにすることが出来ました。

- ・10時半くらいになると、とても忙しかったけれど、しっかり活動し、小さい子が多かったので足元に注意を払って活動した。出し物の手伝いの活動では人との接し方や気配りについて学んだ。学校ではこのような体験は出来ないのので、このボランティア活動を通しての経験を大切にしていきたいと思う。



かわじま町立さくら保育園・けやき保育園

＜さくら保育園＞

【実施日】8月5日（月）、7日（水）

【参加者】5名

＜けやき保育園＞

【実施日】7月25日（木）、26日（金）

【参加者】4名

- ・担当したクラスの子供たちは元気な子がたくさんいて一緒に遊んでいてとても楽しかった。あまり小さい子と接する機会がなかったので、上手くいかなと心配だったけど、子供たちの方から話し掛けてくれて嬉しかった。プールの時も水をかけられたりしてとても楽しかった。
- ・活動を通じて、先生も子供も楽しんでいる良いところだなと感じた。みんな元気そうに遊んでいて、自分も楽しかった。子供たち全員話し掛けてくれて緊張したけど最後は全くなかった。将来に繋がる良い経験になった。
- ・このボランティア体験で保育士がどんな仕事をしているか、やりがいや楽しさを学ぶことができました。小さい子供は友達同士で揉めて泣いてしまったり、あっちこっち行ってしまうなど少し大変なこともありました。本の読み聞かせをした時、大きな声と一つ一つ表現をしてわかりやすくする工夫をすることができました。このボランティアの経験を将来につなげていきたいと思いました。
- ・最初だからわからないことも多くあったが、先生方が教えて下さったのでちゃんと行動することができた。皆が関わってきてくれて、大変だと思う事も沢山あったけれど、同時にやりがいや楽しさも知ることができた。またこういったことがあったら、ここでの経験を活かしていきたい。

- ・子どもたちに指示をしながら行う事は難しい事が改めてわかりました。保育士の方は、周りを見て先回りして子供たちに伝えていたりしてすごいなと思いました。今回の経験を通して、私は人の笑った顔が好きなんだなとわかりました。私は人が困っていたりしていたら、手を差し伸べられるようになりたいなと思いました。

- ・ボランティアをやって、わからない事や知らなかった事も少しずつ優しく丁寧に教えてくれたので良かったです。私の将来の夢は保育士なので、少しずつ経験ができて良かったです。
- ・僕は弟や妹がいないので、保育園内の子供たちがとても可愛かったです。余り機会のない保育園児たちと関わることが出来て、子供の考えや気持ちを少しわかることができました。これからは保育園児以外の子供たちも大切にしていきたいです。
- ・僕は2日間活動して、みんな仲良く遊んでいて感心しました。時々、本やおもちゃの取り合いになってしまうことがあったけれど、先生の話聞いて、時間で交換したりして遊んでいました。僕が幼稚園に通っていた頃は、先生の行動などを意識していなかったけれど、手伝いをして様々な仕事があることを知りました。



お弁当宅配・お手紙ボランティア

【実施日】8月22日（木）

【参加者】6名

- ・皆さん笑顔でお弁当とお手紙を貰ってくれてよかったです。一言声を掛けると、いろんな方が「ありがとう」や「えらいね」と言ってくれて心が温まりました。お弁当をお配りした方全員元気そうでよかったし、私もこれからずっと健康で元気に過ごしたいと思いました。それぞれの方たちと話ができたし、元気だったので来年もボランティアができたらいいなと思います！
- ・皆さんにお弁当を配った時に、話し掛けてくれて嬉しかったし、楽しく話をできてよかったです。奉仕団の方とも仲良く出来てよかったし、色々なことを教えてくれてわかりやすかったです。地域の方も話をしてくれて「よく頑張ってるね！」と声を掛けてくれて、元気で良いなと思いました。私もおばあさんになった時に、元気でいたいの、今から運動をしていきたいなと改めて思いました。私たちまで心から嬉しくなって、お互い心が温かくなってよかったなと思いました。私はお配りする人数が少なかったけど、話が盛りあがって良かったです！ありがとうございました！

・奉仕団の方に、長い時間の立ち話は足に負担が掛かってしまうと聞き、3分～5分程度お話をしました。「暑いから体調に気を付けて下さい」と声掛けをしました。お話を続けるのが意外と難しかったので少し焦りました。皆喜んでくれたのでとても嬉しかったです。

・初めてのボランティアで、しっかりと自分から話をする事ができた。手紙もとても喜んでくれたので嬉しかった。また、一人一人の安全確認もできたので地域に貢献できた。これを機に、川島町やそれ以外の所で行われているボランティアにも参加してみたいと思った。

・様々な方とお話しすることができました。皆さん喜んでくれたのでとても嬉しかったです。機会があればまた取り組みたいです。

・今回の活動では新しい事を見つけると共に自身の成長を感じることができた。このボランティアを通して、身の回りのできることを積極的に探して行動していきたいと感じる。



アイロンビーズ作り

【実施日】8月6日（火）

【参加者】18名

- ・色の組み合わせを工夫して、上手く作れたのでよかったです。黄色と黄緑色を組み合わせでキャンディーを作りました。
- ・アイロンはとても怖かったけど、人の為にやるってことを忘れずに丁寧に出来た。またボランティアする機会があれば積極的に参加したいです。
- ・今日作ったアイロンビーズがどう使われるのか詳しく知る事ができました。私の作ったアイロンビーズが少しでも役に立つといいと思います。
- ・アイロンビーズ作りをして、赤十字の方々の普段の活動なども知る事ができました。何か震災があった時や募金活動の時のお礼に自分が作った物が配られて誰かが喜んでくれればいいなと思います。

・いろんな人にアドバイスなど貰って素敵なアイロンビーズが出来たので良かったです。

・ただ作るのではなくて、これを受け取る人のことを考えて作る事が出来ました。わからないことや助けて欲しい時に、優しい方々がすぐに関心してくれて、とても楽しくボランティア活動が出来ました。

・意外と細かい作業で大変でした。友達が手伝ってくれたのもあり、時間内に2つ作れました。私が作ったものが役に立ったら嬉しいです。

・不安だったけど赤十字奉仕団の方々が優しく教えてくれて上手に作る事が出来ました。



ハッピー体操（介護予防体操）

【実施日】7月25日（木）

8月1日（木）、8日（木）

9日（金）、22日（木）

【参加者】5名

・はじめはどういう体操をしているのか気になりました。やってみると、皆さんも元気に体操をしていて、気持ちよくなりました。たくさん声を掛けてくれてうれしかったです。すごい元気でびっくりしました。私も将来元気でいられるように、今から筋トレや走ることを頑張っておきたいなと改めて思いました。たくさんコミュニケーションをとれて嬉しかったです。

・自分の祖父母と同年代の方々が、大学生の自分たちですら少しキツイなと思う筋トレや体操を涼気な顔でやってのけてしまう姿にすごく衝撃を受けました。自分の祖父母もよく体を動かすなと感じていたけれど、世間の高齢者の方々もそれに負けないくらい元気で安心しました。いつまでも元気な体で日々過ごして欲しいなと感じました。

・私たちの祖父母の年代の人達と楽しく体を動かすことが出来ました。また、大学の授業でも行うようなことを実際に見て学ぶことができたので、とても良い体験が出来ました。これを機に、他の地域での体を動かす活動や、年配の方々と触れ合えるような活動に参加できるようにしたいです。

・健康のためにとても気を使っているということがわかった。皆で集まって、健康を保つ場所があいいいと思いました。とても楽しかったので来年もボランティアに参加したいです。

・参加している方々の楽しそうに身体を動かしているところを見て元気をもらう事ができました。たくさんの方々が一緒にお話しをしてくれて、とても楽しい時間を過ごせました。参加している皆さんが健康に気を付けていると聞き、進んで運動に取り組んでいるのがすごいと思いました。



オレンジカフェ・脳いきいき教室

＜オレンジカフェ＞

【実施日】8月15日（木）

【参加者】3名

＜脳いきいき教室＞

【実施日】7月24日（水）

8月1日（木）、28日（水）

【参加者】10名

・身近な場所で住民同士で健康を保つ、そして予防の為に体だけでなく脳を動かすことは大切なことであり、とても価値のある活動でした。高齢者にとって、一人でリハビリや介護に向き合うことは、もしかすると孤独で寂しいものがあるかもしれません。ですが、皆とコミュニケーションを取る事や、考える事を気軽に身近な場所で行う事は、体力の維持や向上に繋がる第一歩を進むことになると、改めて学ぶことが出来ました。

・地域の皆で協力しながら介護予防を行う事にすごく魅力を感じました。身近な人同士で会話をしながら体を動かすので、楽しみながら交流をし、認知症などの予防ができました。体操や有酸素運動、脳トレなどを皆で楽しみながらやることで、体力の維持向上をしながら、地域との繋がりを持てることがわかりました。帰りの際、皆さんがとてもいきいきして楽しそうに帰っていく姿が見られて、とてもやりがいを感じました。たくさんのお話を聞けて、とても良い経験ができました。

・普段人とあまり話さないのが、今回の活動で色々な人と話すことができてよかったです。皆さんお優しくおもしろい人達だったので、人見知りな私と話してくださってとても楽しかったですし、とても良い経験になりました。ボランティアを体験して良かったです。

伊草公民館 盆踊り大会

【実施日】8月3日（土）

【参加者】10名

- ・枝豆の出店でお客さんをたくさん呼べて、無事に完売させることで良かったです。地域の人や枝豆を買ってくれた人たちの笑顔が見れて僕も嬉しかったです。最後の盆踊りは、皆で踊ってちゃんと踊りきることができて、これが最後の伊草盆踊り大会になることが少し悲しかった。
- ・フランクフルトは焼く事はあまりやらなかったけど、その他の焼く人のお手伝いはできたと思います。盆踊りでは、最初はだいたい踊る事はできたけど、最後うへんはあまり踊れなかったです。お手伝いでは、大人の話聞いて素早く動くことができました。
- ・出店でフランクフルトを焼いたり、お客様対応したりするのがとても楽しかった。自分達が焼いたフランクフルトを美味しく食べているところを見ると、とても嬉しかった。最初は上手く焼けなかったけど、たくさん焼いているうちに慣れていった。またこのような機会があれば参加してみたいと思った。
- ・今までは祭りを楽しむだけだったけど、ボランティアをして祭りを楽ませる側になって、人と人との関わり方を学べたり、普段とは違った経験ができた、人に感謝をされてやりがいを感じる事ができて、色々な体験ができて楽しかった。

・昔行った盆踊り大会は買う事しかしてなかったので、実際に売ってみて最初はあまり売れていなかったけど、声を出したりして頑張って人を集めました。当日は気温が高くて、この中でフランクフルトを焼いたりするのは大変だなと思いました。

・盆踊り大会のボランティアに参加することで、地域の繋がりの大切さを強く感じました。また、模擬店の販売を手伝う中で、接客の難しさと楽しさを学びました。お客の呼び込みの際、どのような人が欲しがりそうなのかを考え、そのような人たちが集まっている所で呼び込みをして、お客を集めたりしました。また、仲間と連携しながらスムーズに業務をこなすことで、達成感を得ることができました。

・伊草は小学校のグラウンドを利用していて屋台が多かったけれど、僕の住んでいる地域のお祭りは、伊草と比べて狭いので、とても楽しかったです。他の屋台で飲み物をもらえたり、余った時間に回れて小学校の頃の友達に会う事もできました。担当して下さった方にも喜んでもらえたので嬉しかったです。また参加したいです。



玄米ダンベル作り（自宅ボラ）

【実施日】7月22日（月）～8月30日（金）

【参加者】22名

【作成いただいた数】62組（124本）

- ・米があふれないように縫うことが難しかったです。使う人に健康になってもらえるように、気持ちを込めて作りました。
- ・初めてボランティアをやって、人のために行う活動はとても良い事だなと改めて感じました。普段やらない手芸をやれて楽しかったです。
- ・布を正しいサイズに切り、ミシンで縫うのはとても苦戦しました。けれど、1つ完成すると楽しくなって、すぐに手が動くようになりました。私にとっても良い経験となり、地域の方々のお役に立てると思うと、とても嬉しいです。中身が出ないように強めに縫い付け、隙間なく止められました。ダンベルを自宅で作れる方法など、色々な部分で学ぶことができました。
- ・私は裁縫が得意ではないですが、祖母の参加しているハッピー体操に必要な道具作りをすることで、祖母への恩返しになったと思います。

・思ったより簡単だったけど、簡単な事でも誰かの役に少しでもなることを知り、これからでもできるだけボランティアをしていきたいと思った。これからはボランティアをする人が増えて欲しいです。

・普段、裁縫はあまりやらないのでとても難しかったです。特にミシンでの返し縫いが苦戦しました。他にも、中に入れた玄米が出ない様に、まつり縫いの縫いにも気を付けました。一生懸命作ったので、使っていただけたら嬉しいです。



▲ 皆さんに作成いただいた玄米ダンベルは、ハッピー体操の参加者・サポーターの皆で大切に使用させていただきます。ご協力いただき大変ありがとうございました。

